

5-4 令和6年度公民館の概要・事業報告

中央公民館

中
央

◇運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇重点施策

- 1 各公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
- 2 学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の整備充実、有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
- 3 市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
- 4 地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

◇重点事業

- 1 文化推進事業
- 2 学習支援事業
- 3 教養講座

所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6 9 1 8 番地 1
粕壁市民センター内

TEL 048-752-3080

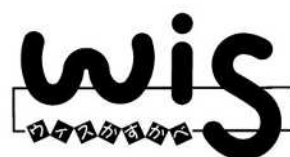
FAX 048-754-0158

E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp



職員 館長 矢野 仁 史
〈管理担当〉

主幹	宗 像 篤
主査	篠 原 将 典
主任	遠 藤 一 吉



主 任 栗 山 崇 史
フルタイム 石 下 勉
フルタイム 内 田 泰 子
〈事業担当〉
担当課長（兼務） 大 橋 等
主 幹（兼務） 金 子 忠 之
主 査（兼務） 須 藤 俊 英
主 任（兼務） 桜 井 厚
主 任（兼務） 大 澤 恵 太（社会教育主事）
主 任（兼務） 高 島 美 香（社会教育主事）
フルタイム（兼務） 落 合 珠 美
フルタイム（兼務） 原 昌 美
フルタイム（兼務） 榊 原 小太郎

（環境整備・情報提供・会議・研修・支援事業など）

No.	事 業 名	対 象 館	内 容
1	公民館施設・設備の 整備（主なもの） ※掲載は一部。 ※簡単な修繕については、各地区公民館の職員で編成する修繕班で対応している。	中央公民館	・1 階女子トイレ大便器交換修繕 ・3 階男子トイレ大便器交換修繕 ・3 階排風機修繕 ・AC1 講堂系統 OA ダンパー交換修繕 ・シャワー室給湯器修繕 ・受電設備修繕 ・スプリンクラー開閉バルブ修繕 ・多機能トイレ自動ドア修繕 ・電動式観覧席支柱交換修繕
		粕壁南公民館	・管理室空調機修繕 ・外灯器具交換修繕
		内牧地区公民館	・1 階講堂照明器具交換修繕
		内牧南公民館	・屋根部分防水層外修繕
		豊春地区公民館	・空調機配管更新修繕
		豊春第二公民館	・調理室給湯器修繕
		武里地区公民館	・街路灯修繕 ・2 階多目的トイレ交換修繕
		武里東公民館	・給水管漏水修繕
		幸松地区公民館	・南面 1 階剥落危険部補修修繕
		幸松第二公民館	・調理室給湯器修繕
		豊野地区公民館	・講堂等照明器具修繕
		藤塚公民館	・図書室エアコン修繕
		武里南地区公民館	・大会議室空調機修繕
		武里大枝公民館	・1 階空調機漏水修繕 ・1 階男女トイレ修繕
		庄和市民センター	・リノベーション工事
		庄和南公民館	・1 階系統空調機修繕

No.	事業名	内 容
2	公民館学習情報 提供事業	地区公民館と中央公民館、また、地区公民館同士の連携調整を図り、公民館だより、月間事業予定、利用サークル、講師人材情報、教材・機材情報などの各種学習情報提供を効果的に行う。
3	公民館関係団体支援	学習相談、団体運営相談・指導・援助、各種情報提供、団体間交流促進など。
4	公民館関係資料調査 及び収集	学習情報の提供に資するための、各種資料の収集・整理を行う。社会教育課及び視聴覚センターと連携。
5	ホームページ等の 作成	春日部市ホームページ上の情報の更新、公民館新着情報（ブログ）の作成など

No.	事業名	発行日	発行部数	名 称	内 容
6	各種公民館関係資料の作成・発行	7 / 1	4 5 部 概要版 1 2 0 部 ホームペ ージ掲載	令和 6 年度 春日部市の公民館（令和 6 年度事業計画・令和 5 年度事業のまとめ）	事業計画・事業報告・利用状況など
		6 / 1	2 部 ×16 館 ホームペ ージ掲載	令和 6 年度 春日部市公民館利用団体一覧	・活動内容別 ・公民館別 （閲覧用及び職員内部資料用）
		平成 7 年度	2000 部	春日部市民戦争体験記「語り継ぐ平和への想い」の頒布	中央公民館窓口で頒布

No.	事業名	期 日	回数	対象・人員	内容（テーマ）	特 記
7	新任職員研修会	4/10 4/12	2	新任職員	公民館の役割について・公共施設 予約システムについて ・予算執行について	
8	公民館長会議	月 1 回	1 2	公民館長	公民館運営に関する情報交換・研究協議・連絡調整	
9	公民館職員会議	月 1 回	1 2	関係職員	情報交換・実務研修 ・貸館基準、著作権 ・実践事例報告 ・情報の共有化ほか	
10	各種プロジェクト	随時		担当職員	・公民館合同フェスティバルの検討ほか	職員会議プロジェクト企画担当
11	修繕班	随時		担当職員	各公民館の軽易な修繕作業	

事業名 テーマ	第31回 春日部市民県展入選作品展		対 象	一 般		定 員	定めず
ね ら い	ギャラリースペースを活用し、市民の美術への関心と理解を高めるため、優れた作品を鑑賞する機会を提供する。市内在住の県展入選・入賞者等の作品を展示することで、市民の連帯感を深め、さらに出品者相互の交流を図る機会となることも目的とする。						
協力機関 及び団体	春日部市民県展入選作品展実行委員会		特 色 位置づけ	ギャラリーを使用した美術展、実行委員会による運営		SDGsの 目標No	4・11・17
会 場	中央公民館 ギャラリー		教 材 資 料 等	作品目録			
実施ま での 経 過	5月29日(水) 入選入賞者調査(「県展」) 6月1日(土) 第1回実行委員会 6月4日(火) 県展入選者へ出品依頼送付 6月19日(水) 案内はがき、ポスター配布 6月22日(土) 第2回実行委員会		PR方法	広報かすかべ6月号 各地区公民館だより6月号 ポスター・案内ハガキ・ホームページ 安心・安全メールほか市公式SNS			
			受付方法	当日会場で直接受付 入場無料			
月 日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
6月30日(日)	13:00～17:00	搬入・展示	展示				出品者は第72回県展 入選者・入賞者等のう ち、春日部市民の方
7月2日(火)	10:00～17:00	一般公開		60	50	110	
7月3日(水)	10:00～17:00	一般公開		55	70	125	
7月4日(木)	10:00～17:00	一般公開		62	84	146	
7月5日(金)	10:00～17:00	一般公開		58	100	158	
7月6日(土)	10:00～17:00	一般公開		68	105	173	
7月7日(日)	10:00～16:00	一般公開		76	59	135	
	16:00～17:00	搬出					
全7日間	46時間			379	468	847	
企画運営上 の 工 夫	・県展事務局から春日部市民入選者の情報を事前に入手し事務効率の向上に努めた ・県展会場(埼玉県立近代美術館)へ赴き、春日部市民入選者の調査を行った ・専門的な意見を企画に反映させるため、全6部門から構成される実行委員会を組織 ・ハガキ・ポスター配布、市ホームページ、安心安全メール等への掲載依頼などの広報を実施 ・中央公民館からのあいさつ(県展の説明)をA3カラーで作成し、会場入り口に掲示 ・来場者がわかりやすいよう作品目録を展示順に記載 ・出品者が当番制で受付を行う傍ら、来場者に作品の解説をした ・受付当番(出品者)の名札を用意し、相互の交流を深められるようにした ・来場者の増加を図るため、会期中に開催した「音楽鑑賞会」においてアナウンスをした ・来場者にアンケートを実施し、意見・感想を募った						
成 果 参加者の 声 など	春日部市民県展入選者に出品を依頼し、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門の作品58点を展示した。アンケートでは大多数から好評を得て、市民が良質な芸術・文化に触れる機会を提供できた。また、入選者同士の交流も盛んに行われ、美術を通じて市民のネットワーク作りに寄与した。「それぞれ素晴らしい作品、皆様の努力を感じました。」「毎年市展に出される方々の上手なことが楽しみです。」「皆様、頑張っている様子を拝見しまして感動しましたし、力をいただきました。」などの声が寄せられた。						
課題と展望	例年多くの入選者に出品していただいているが、出品者の高齢化に伴い、搬入・搬出の負担が大きくなったという声を聞く。搬送手段が無いため辞退する方もおり、搬送の負担軽減が今後の課題と推察する。また、県展調査から本事業実施までの期間が短いため、準備過程の簡素化など見直しが必要と考える。出品しやすい環境を整えながら、文化推進事業のひとつとして今後も継続し、芸術の振興に寄与したい。						

事業名 テーマ	音楽鑑賞会 「田口菜々子電子オルガンコンサートⅡ」		対象	一般		定員	321
ねらい	質の高い芸術作品に触れる機会を提供し文化意識の向上に資する。 春日部ゆかりの演奏家を招いての演奏会とし、地元での活動推進と、郷土意識の高揚をめざす。						
協力機関 及び団体	春日部市民劇団かざぐるま PAサークルプラグド		特色 位置づけ	春日部ゆかりの 音楽家による演奏		SDGsの 目標No	4・11
会場	講堂 控室 大会議室		教材 資料等	プログラム			
実施までの経過	4月3日(水) 広報6月号 原稿依頼済 4月23日(火) 出演者打合せ 5月12日(日) ポスター掲示開始 6月1日(土) 広報6月号・公民館だより 6月号発行 6月8日(土) 整理券配布開始 7月5日(金) 楽器搬入・リハーサル 7月6日(土) 本番 電子オルガン搬出		PR方法	公民館だより 6月号 ポスター・チラシ 広報かすかべ 6月号(4/1締切)			
			受付方法	6月8日(土)から、中央公民館で整理券(計約380枚)配布 当日は整理券を持った人から先着順に入場			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月6日(土)	14:00～16:00	「田口菜々子電子オルガンコンサートⅡ」	鑑賞	122	199	321	演奏者 田口 菜々子 (電子オルガン)
1回	2時間			122	199	321	
企画運営上の工夫	・春日部市出身の演奏者による演奏会 ・地元の演奏家であることを強調し、自身の生い立ちや、春日部にちなんだ話を盛り込んでもらうことで、郷土意識の向上を促すことに重点を置いている。 ・公民館事業であることを出演者にも理解していただき、聴衆にも伝わるよう努力する。 ・照明や音響の設営等を市民団体に依頼し、講師に紹介することで交流を図る。 						
成果 参加者の声など	・1回目も来ましたが、2回目も素晴らしい演奏でした。とても楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。オルガンのテクニックとトークもすばしかったです。 ・初めての電子オルガンコンサート。こんなにも迫力があるとは思いませんでした。足を使うのにも驚きましたが、ひとつの楽器とは思いませんでした。 ・素敵なイベントですね。アットホームな雰囲気で街を挙げて盛り上げている様子が伺え、いい街だなと思いました。 						
課題と展望	・春日部市にゆかりのある演奏者であることにこだわっているが、それを無くしてしまうと、ただの提供事業となってしまう。公民館の事業であるから、郷土色を出すことに細心した。アンケートでは引き続き春日部出身の演奏家を期待する声もあり、公民館の意図が定着しつつある様に感じている。演奏者をさがすための情報収集に努めることが必要であり、過去の演奏者の再演も視野に入れる必要が出て来た。						



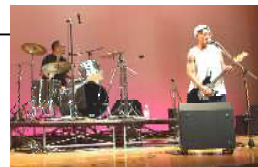
中央公民館 3

事業名 テーマ	サークル体験月間		対 象	一般		定員	特になし																																																																																																																																						
ね ら い	中央公民館のサークル活動の促進と利用の活発化を目指す。																																																																																																																																												
協力機関 及び団体	事業にご協力いただけるサークル			特 色 位置づけ	サークル との連携	SDGsの 目標No	4. 11																																																																																																																																						
会 場	中央公民館 粕壁南公民館			教 材 資 料 等	教材等は、サークルで準備																																																																																																																																								
実施までの経過	4月1日（月）公民館だより4月号 4月16日（火）周知・申し込み開始 5月16日（木）サークル申し込み終了 6月1日（土）公民館だより6月号			P R 方法	公民館だより4・6月号 ポスター・チラシ																																																																																																																																								
				受付方法	直接サークル活動の会場へ																																																																																																																																								
月 日（曜）	時間	内 容		方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名																																																																																																																																					
					男	女	合計																																																																																																																																						
回 数	総時間数				計	計																																																																																																																																							
サークル体験報告書(7/2～8/4 中央分)					25サークル参加 29人参加		各サークルの皆さん																																																																																																																																						
<table><thead><tr><th>サークル名</th><th>活動内容</th><th>活動公開日 体験・見学参加人数</th><th>参加人数 計</th><th>うち 入会人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 コーラス楽団/ヴォイス</td><td>コーラス</td><td>7/2 7/23 7/30</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>2 歌って健康!</td><td>機式呼吸・発声・発声・合唱</td><td>7/23</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>3 コーロ・イリス</td><td>コーラス</td><td>7/4</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>4 コールタイム</td><td>女声コーラス</td><td>7/12 8/2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>5 ランコントロール</td><td>コーラス</td><td>7/13 7/27</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>6 歌ごよみ</td><td>歌唱・声づくり</td><td>7/13</td><td>4</td><td>0</td></tr><tr><td>7 The Spirits Love Singers</td><td>ゴスペル</td><td>7/3 7/17</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>8 春日部 TEARS WIFE TEARS</td><td>ゴスペル体験</td><td>7/14 7/28</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>9 mada TAMAGO</td><td>フォルクロレ</td><td>7/2 7/9</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>10 オカリナサークルまよかぜ</td><td>オカリナの演奏・合奏</td><td>7/2 7/23</td><td>6</td><td>2</td></tr><tr><td>11 春日部アコーディオンサークル</td><td>アコーディオン演奏</td><td>7/3</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>12 簡単ピアノ会</td><td>キーボード練習の見学</td><td>7/4 7/17 7/24</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>13 ふれあいハーモニ</td><td>ハーモニカ</td><td>7/17 7/24</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>14 読書会Ⅱ</td><td>住所の神話(藤本)</td><td>7/3 7/17</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>15 風神会</td><td>川柳作品発表と作品の制作</td><td>7/18</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>16 歌会はなみすき</td><td>歌会見学</td><td>7/25</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>17 アトリエドリーム</td><td>自由に絵を描いたり</td><td>7/10</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>18 アトリエタイム</td><td>油絵・水彩</td><td>7/18</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>19 悠彩会</td><td>油絵・水彩</td><td>7/13</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>20 陶器会</td><td>作陶</td><td>7/7 7/21 8/2</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>21 華工芸サークル</td><td>華小物の製作活動</td><td>7/19</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>22 自衛衛クラブ</td><td>自衛衛</td><td>7/2 7/9 7/30</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>23 自衛衛ふれあい教室</td><td>自衛衛</td><td>7/3 7/10 7/17 7/31</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>24 楽しい中国語</td><td>中国語</td><td>7/4 7/11 7/18 8/1</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>25 華夏の会 絆</td><td>そば打ち体験</td><td>7/5 7/13 7/21 7/25</td><td>3</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="3">計:</td><td>29</td><td>14</td></tr></tbody></table>					サークル名	活動内容	活動公開日 体験・見学参加人数	参加人数 計	うち 入会人数	1 コーラス楽団/ヴォイス	コーラス	7/2 7/23 7/30	1	0	2 歌って健康!	機式呼吸・発声・発声・合唱	7/23	1	1	3 コーロ・イリス	コーラス	7/4	0	0	4 コールタイム	女声コーラス	7/12 8/2	0	0	5 ランコントロール	コーラス	7/13 7/27	1	1	6 歌ごよみ	歌唱・声づくり	7/13	4	0	7 The Spirits Love Singers	ゴスペル	7/3 7/17	1	0	8 春日部 TEARS WIFE TEARS	ゴスペル体験	7/14 7/28	4	3	9 mada TAMAGO	フォルクロレ	7/2 7/9	0	0	10 オカリナサークルまよかぜ	オカリナの演奏・合奏	7/2 7/23	6	2	11 春日部アコーディオンサークル	アコーディオン演奏	7/3	0	0	12 簡単ピアノ会	キーボード練習の見学	7/4 7/17 7/24	0	0	13 ふれあいハーモニ	ハーモニカ	7/17 7/24	2	2	14 読書会Ⅱ	住所の神話(藤本)	7/3 7/17	0	0	15 風神会	川柳作品発表と作品の制作	7/18	0	0	16 歌会はなみすき	歌会見学	7/25	1	0	17 アトリエドリーム	自由に絵を描いたり	7/10	0	0	18 アトリエタイム	油絵・水彩	7/18	1	0	19 悠彩会	油絵・水彩	7/13	0	0	20 陶器会	作陶	7/7 7/21 8/2	1	1	21 華工芸サークル	華小物の製作活動	7/19	0	0	22 自衛衛クラブ	自衛衛	7/2 7/9 7/30	0	1	23 自衛衛ふれあい教室	自衛衛	7/3 7/10 7/17 7/31	0	0	24 楽しい中国語	中国語	7/4 7/11 7/18 8/1	3	3	25 華夏の会 絆	そば打ち体験	7/5 7/13 7/21 7/25	3	0	計:			29	14	 	
サークル名	活動内容	活動公開日 体験・見学参加人数	参加人数 計	うち 入会人数																																																																																																																																									
1 コーラス楽団/ヴォイス	コーラス	7/2 7/23 7/30	1	0																																																																																																																																									
2 歌って健康!	機式呼吸・発声・発声・合唱	7/23	1	1																																																																																																																																									
3 コーロ・イリス	コーラス	7/4	0	0																																																																																																																																									
4 コールタイム	女声コーラス	7/12 8/2	0	0																																																																																																																																									
5 ランコントロール	コーラス	7/13 7/27	1	1																																																																																																																																									
6 歌ごよみ	歌唱・声づくり	7/13	4	0																																																																																																																																									
7 The Spirits Love Singers	ゴスペル	7/3 7/17	1	0																																																																																																																																									
8 春日部 TEARS WIFE TEARS	ゴスペル体験	7/14 7/28	4	3																																																																																																																																									
9 mada TAMAGO	フォルクロレ	7/2 7/9	0	0																																																																																																																																									
10 オカリナサークルまよかぜ	オカリナの演奏・合奏	7/2 7/23	6	2																																																																																																																																									
11 春日部アコーディオンサークル	アコーディオン演奏	7/3	0	0																																																																																																																																									
12 簡単ピアノ会	キーボード練習の見学	7/4 7/17 7/24	0	0																																																																																																																																									
13 ふれあいハーモニ	ハーモニカ	7/17 7/24	2	2																																																																																																																																									
14 読書会Ⅱ	住所の神話(藤本)	7/3 7/17	0	0																																																																																																																																									
15 風神会	川柳作品発表と作品の制作	7/18	0	0																																																																																																																																									
16 歌会はなみすき	歌会見学	7/25	1	0																																																																																																																																									
17 アトリエドリーム	自由に絵を描いたり	7/10	0	0																																																																																																																																									
18 アトリエタイム	油絵・水彩	7/18	1	0																																																																																																																																									
19 悠彩会	油絵・水彩	7/13	0	0																																																																																																																																									
20 陶器会	作陶	7/7 7/21 8/2	1	1																																																																																																																																									
21 華工芸サークル	華小物の製作活動	7/19	0	0																																																																																																																																									
22 自衛衛クラブ	自衛衛	7/2 7/9 7/30	0	1																																																																																																																																									
23 自衛衛ふれあい教室	自衛衛	7/3 7/10 7/17 7/31	0	0																																																																																																																																									
24 楽しい中国語	中国語	7/4 7/11 7/18 8/1	3	3																																																																																																																																									
25 華夏の会 絆	そば打ち体験	7/5 7/13 7/21 7/25	3	0																																																																																																																																									
計:			29	14																																																																																																																																									
約1か月間						29																																																																																																																																							
企画運営 上の工夫	当日の運営等は、各サークルに全面的な協力をいただく。・中央公民館の主な施策として「サークルの学習活動を支援するため、研修の機会、団体の運営及び活動の相談など支援体制の充実を図る」とあり、この施策に則る。																																																																																																																																												
成 果 参加者の 声など	参加サークル数は25団体で昨年比で6団体増となった。また、参加者数も昨年より多い結果となった。サークル体験に参加した方のうち、およそ半数が新たにサークルに入会した。サークルに参加したい方のためであることはもちろん、公民館職員と各サークルが関わりを持てる貴重な機会でもあるため、毎年、実施期間を設け、継続して実施していきたい。																																																																																																																																												
課題と展望	体育館使用休止（移動観覧席修繕）のため開催時期を変更した。夏の暑さの影響もあり、サークルから開催時期についての意見が多数あったため、開催時期の見直しを図りたい。また、より多くの参加者に周知できるように広報への掲載も検討したい。公民館は利用者（サークル等）あってこそその施設であるため、貸館等のやりとりにおいても単なる窓口対応だけで終わらせず、各サークルとのつながりを念頭に置いて業務を行うよう、すべての職員が意識すべきところである。																																																																																																																																												

事業名 テーマ	年少リーダー研修会		対 象	小学5・6年生		定 員	30名
ね ら い	子どもたちが、様々な体験を通して、強く、たくましく生きる力をもつきっかけになり、地域で活動する青少年リーダーに育ってもらうことを目的とする。						
協力機関 及び団体	春日部市子ども会育成連絡協議会		特 色 位置づけ	地域ボランティアと青少年 の交流を推進 春日部市内での継続的な活 動のきっかけとする		SDGs の目 標No	4・11
会 場	中央公民館・各地区公民館		教 材 資 料 等	各種体験プログラムにより異なる			
実施ま での 経 過	6月1日(土) 公民館だより発行 7月1日(月) 広報かすかべ発行 7月23日(火) スタッフ打ち合わせ ほか		P R 方法	広報かすかべ7月号 公民館だより6月号			
			受付方法	6月1日(土)～7月13日(土)に中央公民館へ電話またはメールで申込み			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
7月27日(土)	9:30～12:00	顔合わせ・レクリエーション	実習	14	8	22	角間 洋子 (春日部市子ども会育成連絡協議会)
8月21日(水)	～23日(金)	宿泊研修	実習	21	11	32	国立那須甲子青少年自然の家
9月7日(土)	9:30～12:00	宿泊研修会のふりかえり	実習	8	10	18	公民館職員・学生ボランティア
9月14日(土)	9:30～12:00 14:00～16:30	成果発表会準備	実習	11	7	18	公民館職員・学生ボランティア
9月28日(土)	9:30～12:00	成果発表会	実習	10	8	18	公民館職員・学生ボランティア
11月9日(土)	9:30～12:00	キッズフェスティバル準備①	実習	7	3	10	公民館職員・学生ボランティア
11月30日(土)	14:00～16:30	キッズフェスティバル準備②	実習	8	6	14	公民館職員・学生ボランティア
12月26日(土)	9:30～12:00	キッズフェスティバル準備③	実習	7	6	13	公民館職員・学生ボランティア
1月11日(土)	14:00～16:30	キッズフェスティバル前日準備	実習	6	5	11	公民館職員・学生ボランティア
1月12日(日)	11:30～16:30	キッズフェスティバル本番	実習	10	6	16	公民館職員・学生ボランティア
2月15日(土)	9:30～11:30	自然観察会	実習	3	3	6	埼玉県生態系保護協会春日部支部
3月1日(土)	12:20～15:40	芸術文化に触れよう！ 「ほんやく・おんがく」オペラの鑑賞	実習	4	1	5	公民館職員
3月15日(土)	9:30～12:00	「自身の将来を“経済的 視点”で考えてみよう」 閉講行事	実習	11	7	18	石野 宏明 (企業支援活動家) 角間 洋子 (春子連) 公民館職員
1 3 回	35時間20分 (+宿泊研修会2泊3日)			120	81	201	
企画運営 上の工夫	コロナ禍を経て、活動プログラムを刷新してから2年目となる。企画については協力団体と連携を図りつつ、社会教育主事等の職員を中心に検討し各回のプログラムについて決定。かつ、昨年までの参加者 (OB、OGの中高生を含む) が引き続き市内で活動できる場を提供するとともに、次世代のリーダーとしての意識啓発を図る要素を散りばめていく。						
成 果 参加者の 声など	自然の家ではレクリエーションや登山、班活動を楽しみながらも、施設のルールに則って規律ある生活を行い、社会性、協調性の向上を図った。その後「キッズフェスティバル」の準備や本番の運営、子ども向け事業での補助的な役割を担うなど、継続的な体験事業を展開できた。前年度からの継続参加者が半数以上を占めたことから、前年度の企画運営の成果が伺えた。また、こちらも前年度に引き続き多数の大学生ボランティアの協力を得るとともに、過去に参加した現中学・高校・大学生の参加も多数あり、地域の青少年の理想的な事業参加が軌道に乗り始めているといえる。						
課題と展望	昨年度好評を得た「宿泊研修成果報告会」を実施し、様々な体験から学んだことの感想等を保護者に向けて発表する機会を設けたことで、研修会としての学習要素を持たせた。今後も夏季から3月までの事業実施を通じ、継続的な学習機会を提供していく。						

事業名 テーマ	音響操作セミナー		対 象	青少年～成人		定員	10人	
ね ら い	中央公民館の機材を用いて音響操作を行うことで、参加者に音響の知識を深めてもらうとともに、操作を体験することで、自主的に音響操作を行ってみたいという意識付けを図る。また、今後の公民館主催事業などで、ボランティアとして音響操作の協力を仰ぐことも目的とする。							
協力機関 及び団体	P Aサークルプラグド		特 色 位置づけ	公民館の機器 設備を使用	SDGsの 目標No	4・17		
会 場	中央公民館 講堂		教 材 資 料 等	中央公民館 音響機器 講師作成資料				
実施まで の 経 過	5～6月	講師折衝	P R 方法	広報かすかべ8月号、今月のお知 らせ9月号、チラシ、ポスター				
	8月1日（木）	広報かすかべ発行						
	8月1日（木）	今月のお知らせ発行	受付方法	8月1日（木）から直接または電 話で中央公民館に申し込み				
	8月1日（木）	受付開始						
	9月13日（金）	前日準備						
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				合計	合計			
9月14日（土）	9:00～17:00	1 日目 音響機器について（講義） 音響機器について（実技）	講義 実技 実技	6	3	9	P Aサークルプラグド 代表 中村 純子 P Aサークルプラグド の皆さん	
9月15日（日）	9:00～17:00	2 日目 かすかべライブフェスタ準備 かすかべライブフェスタ本番	実技 見学	8	2	10		
9月21日（土）	9:00～12:00	3 日目 セミナーのまとめ	講義 実技	6	2	8		
3日間	19時間00分			20	7	27		
企画運営上 の 工 夫	多種多様な機能を持つ中央公民館の音響機材に積極的に触れてもらうことで、機器操作の楽しみが出てくるよう講義と実技を織り交ぜて指導いただく。今後、中央公民館講堂の機器操作ボランティアとして活動していただけるよう、意識づけの配慮をする。より実践的な講座内容とするため、「かすかべライブフェスタ」の準備・本番と日程を合わせて開催する。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	セミナーとライブイベントを同時開催したことで、学習した成果をすぐに本番でアウトプットする機会を提供することができた。 参加者の声 かねてより音響機器に興味があったので参加したが、奥が深いことに驚いた。詳しく指導してもらえ、ライブの臨場感を味わえてよかった。							
課題と展望	「かすかべライブフェスタ」と同時開催したことで、本番の空気感を体感する機会を提供できたが、ライブ出演者の対応や音響操作を一手に担う講師側にとっては、負担となった。このことから、開催方法や開催日数を含め適切なものとなるよう検討を要する。座学で知識を深めるとともに、実践してこそその学習内容である。公民館においては、必ずしも職員主導ではなく、地域市民と広く協働しボランティアとしてイベントに参画してもらう機会を提供することなども今後、重要となる。							

事業名 テーマ	かすかべライブフェスタ2024		対象	出演バンド： 市内で活動して いるバンド 観覧：一般		定員	出演5組 程度 観覧351名	
ねらい	市内で活動しているバンドに、活動の成果を発表する場を提供すると共にバンドの相互交流の場を設けることにより、市民の芸術、文化活動の発展に寄与する。							
協力機関 及び団体	【音響協力】PAサークルプラグド、主催事業「音響操作セミナー」参加者			特色 位置づけ	公民館の機器設備を使用	SDGs の目標No	4・11	
会場	粕壁市民センター(中央公民館)講堂			教材 資料等	プログラム			
実施までの経過	6月1日(土) 6月15日(土) 7月20日(土) 7月23日(火) ～8月9日(金) 8月1日(木)	広報かすかべ6月号発行 出演バンド受付開始 実行委員会 実行委員長と打合せ (進行、ポスター作成関係等) 広報かすかべ、公民館だより8月号発行 ポスター掲示開始 前日準備		PR方法	広報かすかべ6月号、8月号 公民館だより8月号 ポスター			
	8月13日(火) 9月14日(土)			受付方法	出演バンド：6月15日(土)午前9時から粕壁市民センター(中央公民館窓口)へ申込み(先着順)。 来場者：当日先着順			
月日(曜)	時間	内 容		方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数				男	女	合計	
9月15日(日)	8:30～12:00	音出し・リハーサル		鑑賞	88	66	154	THE DRINK BAR めしうま 夕焼けカムパニーFromB 闘来行部 fish & chips Soulperverts 出演団体全員(フイナル)
	12:30 13:00 16:10 16:20～16:50 16:50～17:15	開場 開演 終演 後片付け 反省会(振り返り)						
1回	7時間45分				88	66	154	
企画運営 上の工夫	例年、出演バンドにより実行委員会を組織している。当日の進行等についての協議、前日準備への協力、当日の照明操作等を各バンドに行ってもらうことで手作りのイベントとするほか、バンド同士がより深く関われるようにした。また、全員参加のフィナーレを実施できるよう、打ち合わせと協力依頼をした。併せて、実行委員長とともに職員もMCの役割を担い、参加者と協働する公民館事業の典型となっている。なお、今年度は、主催事業「音響操作セミナー」との同時開催とし、セミナー参加者が生のライブを体感する機会とした。							
成果 参加者の 声など	実行委員長によりポスター、パンフレットの原案を作成・提供いただくことができたことで事業周知に際し大変好評を得た。来場者や参加バンドはもとより、部内・課内職員からも多数の好意的な反応があった。運営面では円滑に進行がなされ無事、終演。アンケートでは「誰もが知っている歌謡曲や懐メロを取り入れてほしい」旨、意見が多数あった。事業のターゲットをどのように絞り込むか、現行の「おやじバンド」路線を追求するのかなど、課題も残る。							
課題と 展望	参加申込方法は先着順としているが、今後は受付当日の混乱を避けるため抽選(公開抽選)等の形式に努めたい。また、運営の都合上、5団体が望ましいとの意見が協力団体から挙がっており、円滑な運営に資するため、主催者として適切な実施要項を設ける準備に努めていく。成果としては、参加バンド同士の交流が図られたことでバンド独自に市内でのライブイベントを企画するに至っている。「ライブフェスタのおかげで素敵な仲間ができました。」との御礼(メール)が寄せられている。							



事業名 テーマ	教養講座 県立大学生と一緒に学ぶ スマホ相談カフェ		対 象	65歳以上		定員	15名
ね ら い	デジタルデバйд解消のため、スマートフォン操作に不安のある高齢者を対象に、操作の基礎を学習する機会を提供する。						
協力機関 及び団体	埼玉県立大学ボランティアサークルや どり木SPUbinders、市役所行政デジタル 改革課		特 色 位置づけ	DX推進事業 デジタルデバйд解 消を目的とする		SDGsの 目標No	4. 11
会 場	中央公民館 大会議室		教 材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備			
実施まで の 経 過	2月～4月	講師と行政デジタル改革 課による内容調整 実施日程調整 8月1日(火) 公民館だより8月号発行	PR方法	公民館だより8月号			
			受付方法	電話または直接窓口にて申込み			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
9月21日(土)	10:30～12:00	LINEを使ってみよう	体験	3	10	13	埼玉県立大学 小川 孔美 准教授 埼玉県立大学ボラ ンティアサークルや どり木SPUbinders 市役所行政デジタ ル改革課職員
10月19日(土)	10:30～12:00	写真を楽しもう	体験	8	7	15	
11月16日(土)	10:30～12:00	地図を見て出かけよう	体験	7	11	18	
3 回	4.5時間			18	28	46	
企画運営 上の工夫	埼玉県立大学ボランティアサークルやどり木SPUbinders、市役所行政デジタル改革 課との共催で行う。 大学生と高齢者が少人数のグループとなり、大学生がスマホの操作方法の相談に応じ る。						
成 果 参 加 者 の 声 など	年度を重ねて実施している本事業だが、年々スマホに対する参加者の理解度は深まって おり、以前のように全く使い方が分からないという方は減少し、より便利な機能を知り 自由に操りたいという傾向が強い。参加者同士の会話でも「私はこの時こうしているけ れど、このやり方もいいね。」「この時は、こうするといいよ。」など教え合いが生ま れ自発的な学習成果が上がっている。						
課題と展望	包括的連携を締結している大学をはじめ、春日部市近隣の大学等と積極的に連携し、専 門的教育機関によるノウハウに基づいた学習の機会を提供したい。今後は、楽しむため の使い方だけでなく、災害時の情報収集、電子申請など実生活に役立つ活用方法および セキュリティ対策を考慮したデジタルリテラシーの向上にも寄与する取り組みを続けたい。						

事業名 テーマ	キッズフェスティバル		対象	小学生まで		定員	各ブースにより制限あり
ねらい	子どもたちにもものづくりの場を提供するとともに、幅広い年齢間の交流を図り、社会性や感性を育む。また、7月から実施している「年少リーダー研修会」のプログラムとして位置付け、年少リーダー研修会参加者が事業運営や地域活動を体験する場とし、一つの事業を作り上げる機会を提供する。併せて、公民館利用者等に協力を仰ぎ、公民館活動の成果を還元する機会とする。						
協力機関及び団体	協力：春日部市子ども会育成連絡協議会、中央公民館利用サークルほか		特色 位置づけ	年少リーダー研修会の一環		SDGsの目標No	4. 11
会場	中央公民館 講堂		教材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備			
実施までの経過	11月～12月 講師折衝 11月9日(土) 第1回準備 11月30日(土) 広報かすかべ12月号 12月1日(日) 公民館だより12月号 12月26日(木) 第3回準備 1月11日(土) 第4回準備 1月11日(土) 前日準備		PR方法	公民館だより12月号 広報かすかべ12月号 市公式HP、SNS掲載			
			受付方法	申込み不要			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
1月12日(日)	13:00～16:00	「バルーンアートで遊ぼう」 「エモモンster」・体験型EQワーク 「折り紙を楽しもう」 「遊びの広場」・粕壁釣り堀センター(魚釣りゲーム)・モンsterボールストライク(ボール飛ばし)・射的・輪投げ 「館内オリエンテーリング」・宇宙人からのメッセージを解き明かせ	体験	135	191	326	折り紙サークル 春日部市身体障害者福祉会卓球バレー部 庄和チャレンジ隊 宮澤 潤幸 年少リーダー研修参加者 春日部市子ども会育成連絡協議会 角間 洋子 文教大学社会教育実習生 学生ボランティア(文教大学、東洋大学、帝京大学)
1回	3時間			135	191	326	
企画運営上の工夫	例年「年少リーダー研修会」のプログラムの一環としており、児童・生徒が運営スタッフとして当日のブースを担当。事前に複数の準備日程を設け、出し物の製作時間を確保した。過去の参加者の傾向から、未就学児を主な対象とし、段ボールやペットボトル等の廃材を活用して釣りゲームや射的、輪投げなどを作成した。						
成果参加者の声など	十分な準備期間を設けたことに加え、学生ボランティアや社会教育実習生、各ブースの協力団体の献身的な協力を得たことで、万全の態勢で事業することができた。年少リーダーの「遊びの広場」ブースでは、積極的に来場者を呼び込む姿や未就学児・低学年児童に遊び方をレクチャーする様子が見受けられた。また、春日部市子ども会育成連絡協議会の協力により会場全体を対象とした「ジャンボ郷土かるた」を行い盛況となった。アンケートより・たくさんの人、世代が集まっていて、いいイベントだと思いました。・子供たちが親切でやさしくて、とっても嬉しかったです。・係の子も参加者の子も、とても楽しそうでした。						
課題と展望	実施時期や実施形態が確立され、多くの参加者が集う事業となっている。年少リーダー研修会参加者の活動機会の一環であるという特色を維持しつつ、公民館利用団体の活動成果を還元してもらう機会の一つとして、引き続き良好な実施内容を検討して実施していく。併せて、「子どもの遊び場」を利用する児童等にも積極的に周知し、地域に根ざした事業となるよう努めていく。						

事業名 テーマ	中央公民館利用者協議会 陶芸窯利用者のつどい		対 象	公民館利用者及び 利用予定者		定員	定めず
ね ら い	利用者同士の交流の場とし、公民館とともに公民館のよりよい運営を模索するものとする。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	公民館利用サークルの交流と意見交換の機会とする	SDGs の目 標No	4・11	
会 場	中央公民館 大会議室		教 材 資料等	公民館利用のてびき 利用者会議資料 公民館へのご意見・ご要望 春日部市公民館利用団体票			
実施までの経過	12月1日(日) 公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布 館内ポスター掲示		P R 方法	公民館だより 1 2月号掲載 館内にポスターを掲示 窓口でチラシを配布			
			受付方法	直接会場へ (自由参加)			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	氏 名
1月25日(土)	10:00～11:30	公民館の説明、利用協議 情報交換	協議	20	16	36	
	11:30～12:00	陶芸窯の説明、利用協議 情報交換	協議				
1 回	2 時間			20	16	36	
企画運営上の工夫	開会后、すべてのサークルに自己紹介をしてもらい、活動内容等を差し支えない範囲で教示いただき、参加者同士の交流のきっかけを生み出すよう工夫した。また、社会教育法にもとづく公民館の役割を踏まえたうえで、学習の成果を「地域に還元」することや様々な「事業に参画」することなどの重要性を理解してもらい、利用者同士の情報交換の時間を設けた。 陶芸窯利用者については、利用方法を改めて周知するとともに、倉庫等の適正利用について改めて理解いただくよう、職員とともに倉庫の確認を行った。						
成 果 参 加 者 の 声 など	単なる利用方法や予約手続き方法の説明のみではなく、利用者と職員の関係性を構築できるよう自己紹介や、公民館の役割に関する説明、主催事業への協力等についてお願いする時間に重点を置いた。自己紹介のなかで、「サークル体験月間」に参加したことにより新規メンバーが加入したとの発言もあった。併せて、各サークルの活動日程の分散化を提案する意見等もあった。今後も、公民館としてできる限りのサークル支援を継続し、各サークルが良好な運営を継続できるように努めていく。						
課題と展望	公民館を使うだけでなく、学んだ成果を地域に還元するため、まずは利用者が充実した公民館活動を行えるよう支援をすることが不可欠である。今回、自己紹介時の発言によると、発足から20年、30年と歴史を経て継続しているサークルが多数あることも伺えた。各サークルが深みを増し、歴史を紡いでいく過程を支援できるよう、公民館職員としての意識を持ちながら、日頃から窓口等での対応をベースに、関係性を構築していきたい。						

事業名 テーマ	企画展示会 災害報道写真展 ～東日本大震災報道写真展～		対象	一般		定員	なし	
ねらい	多発する自然災害への理解を深め、防災意識の高揚を図る。東日本大震災の発生した時期に合わせ、春日部市での災害対策の意識を醸成する。							
協力機関 及び団体	協力 朝日新聞社		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4・11・13	
会場	中央公民館 1階 メディアホール		教材 資料等	朝日新聞社提供 (B2 約50枚)				
実施までの経過	12～1月 1月24日(金)	関係各所と打ち合わせ 東日本大震災報道写真の 利用についての覚書提出	PR方法	公民館だより 2月号 来館者向けポスター 及び案内表示				
	2月19日(水) 2月21日(金)	写真パネル等借用 展示・準備						
	3月11日(火) 3月13日(木)	片付け 写真パネル等返却	受付方法	当日会場受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
2月25日(火) ～ 3月9日(日)	施設の開館 時間に同じ	東日本大震災報道写真 の展示 (キャプション含) 	展示 鑑賞	観覧自由とした ため集計せず			朝日新聞 コーポレート本部 グループビジネス センター	
1回(12日間)								
企画運営 上の工夫	これまでギャラリー施設(2階)を使った公民館主催の企画展として実施してきたが、より多くの来館者に気軽に観覧してもらえるよう、令和5年度に続き1階メディアホールにて開催。時節に合わせて、市民が高い関心を持つと想定される題材を取り扱う。防災への意識啓発を図る展示物(パネル等)を無料で借用できる提供元に協力を依頼した。							
成果 参加者の声など	公民館1階メディアホール(ロビー)での展示としたことから、公民館施設利用の待合時や、学習スペースの利用時など、幅広い年齢層の来館者に気軽に観覧してもらえたことができた(夜間利用者を含む)。ロビーでの自由観覧としたことから、アンケート等の実施や学習講座等の開催はしていないものの、多くの方が観覧し、時に涙を拭う様子も見受けられた。「叔母(伯母)の自宅が気仙沼港近郊にあり被災した。災害を風化させないように定期的にこうした企画をしてもらえるのはありがたい」と当時を偲ぶ声も寄せられた。							
課題と展望	施設的な特徴としてギャラリーが2階に位置しており、施設利用の「ついでに立ち寄る」にはやや不便であり、足が遠のいている様子が見受けられる。したがって従前のようなギャラリーでの1週間(6日間程度)の企画展ではなく、今回のような比較的長期間のロビー展示とすることも引き続き考えていきたい。多くの来館者の目に触れ、職員の負担(会場での当番等)も軽減できる利点がある。あわせて、より質の高い企画展示会とするため、防災に関する学習講座等を併設するなど工夫していきたい。							

事業名 テーマ	講堂機器操作説明会		対象	公民館（講堂） 利用団体		定員	なし
ねらい	中央公民館の講堂をコンサート・音楽会・講演等で利用するのに必要となる会場設営や照明・音響装置の基本操作方法を習得し、利用団体が当日円滑に舞台運営ができることを目的とする。						
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11
会場	中央公民館講堂		教材 資料等	機器説明資料			
実施ま での予 定	主に事業担当職員は講堂機器の操作方法について最低限の理解に努める。ワイヤレスマイク、有線マイクの音出しからP A卓の基本操作を理解しておく。併せて、オペレーションルームからの照明操作（シーリングライト、サスペンションライト、ホリゾンライト等）について一定の知識を有したうえで機器操作説明会での指導にあたる。		P R 方法	講堂申込時に計画概要書と併せて「予定表」を配布し周知			
			受付方法	電話または直接中央公民館へ事前申し込み			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				合計	合計		
5月11日（金）	9：00～11：00	第1回	講習 実技	5	0	5	公民館事業担当職員
7月5日（金）	9：00～11：00	第2回		9	3	12	
9月13日（金）	9：00～11：00	第3回		5	5	10	
11月16日（土）	9：00～11：00	第4回		5	6	11	
1月25日（土）	9：00～11：00	第5回		10	3	13	
5 回	10時間			34	17	51	
企画運営 上の工夫	かつては都度、利用団体ごとに操作説明を実施していたが、平成23年度からおよそ2か月に1回程度操作説明会を実施。いずれかの日程への参加を促すことで説明会の効率化を図る。講堂の利用に際し「催物概要書」の配布にあわせて説明会の日程を示し、操作に不安がある団体は参加するよう呼びかける。また、都合をつけやすいよう平日のほか土曜日にも開催日を設ける。なお、中央公民館の新任職員は、機器操作の理解度を平準化するため新任職員を中心にOJTの一環として参加を促す。						
成 果 参加者 の声など	参加者に音響機器や照明機器に実際に触れてもらうことで、理解を深める機会を提供できた。「安心して本番を迎えられる」との声も多数あり、円滑な講堂利用のために重要な講習会となっている。総じて多くの利用団体が会場設営や照明、音響装置の基本操作方法を習得したと思われる。一方、「説明会から実際に使用するまでに間があり忘れてしまう。」などの声もあった。そのため、次年度は、開催数を年間6回とし、開催頻度を増やすこととしたい。						
課題と展望	講堂の音響や照明を使用した経験があっても、次に使用するまでに期間が経ってしまうことで、操作方法を忘れてしまっている場合が多い。利用団体が催物を円滑に運営できるようにするためには都度、研修を受けてもらう必要がある。利用団体に対し、運営が困難な状況にあっては職員も補助をするが、当初から「頼めば職員がどうにかしてくれる」という意識ではなく「自主的に催物を運営していく」という意識へ変容させるよう継続して支援していくことが望まれる。						

事業名 テーマ	「今月のお知らせ」発行		対象	公民館利用者 (来館者)		定員	
ねらい	主催事業や「講堂」、「ギャラリー」を使用した催物等の情報を掲載し、公民館利用者及び地域住民に伝達することで公民館利用を促進する。毎月のイベントを時系列に掲載できることから、『公民館だより』と並行した公民館事業等のPR手段として期待される。						
協力機関 及び団体	講堂及びギャラリー利用団体		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11
会場			教材 資料等				
実施までの経過	毎月中順	講堂、ギャラリーの催物 計画概要書等を参照し、 紙面作成 発行	PR方法	窓口、チラシ配架スペースのほか 公民館新着情報(ブログ)に掲載			
	毎月下旬		受付方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
毎月1日発行 (毎月100部配架)		講堂利用団体による市民一般を対象とした催物の周知 ギャラリー利用団体による市民一般を対象とした展示会等の周知 中央公民館主催事業の周知 粕壁地区公民館主催事業の周知 粕壁地区センター機能の周知 裏面に『公民館の役割について』連載					
12回				0	0	0	
企画運営上の工夫	『公民館だより』や個別のチラシ、ポスター等のほかに、一枚で広く公民館事業の周知ができる媒体として、毎月発行することとした。併せて裏面の空きスペースを活用し、公民館の役割や、主催事業の告知、実施報告などを掲載する。						
成果参加者の声など	試験的に毎月、『今月のお知らせ』を発行するようになってから数年間しか経過していないが、月末になると、翌月号の配架についての問合せが多数あるほか、毎月の発行を楽しみしているとの声もあるほどに浸透してきている。また、令和5年度は主に社会教育主事有資格者が作成を担当し、裏面『公民館の役割』の連載を通じ、資質を発揮する機会の一環とした。						
課題と展望	今後も一層、必要な情報を正確に伝えるためにレイアウト等を工夫し、見やすく、わかりやすい魅力ある紙面づくりに努める。また、紙面の状況に応じ、サークルや地域情報を掲載する等して、裏面に掲載するなど、発展的な活用について検討していきたい。						



事業名 テーマ	令和6年度 粕壁地区防災研修会		対象	粕壁地区自治会連合会会員		定員	各回おおむね60名
ねらい	地域住民の防災に対する意識を高め、災害時に自ら考え行動できる力を養うことをねらいとする。避難所の設営体験のほか、実際の災害現場の避難所開設状況等の講演をもとに、地域における日頃からの自助・共助意識を高める。						
協力機関 及び団体	主催 粕壁地区センター・粕壁地区自治会連合会・社会福祉協議会粕壁地区支部		特色 位置づけ	防災・防犯の拠点に関する事業		SDGsの 目標No	4・11・13
会場	粕壁市民センター（中央公民館） 第1回：講堂 第2回：大会議室		教材 資料等	講義資料、避難所設営マニュアル			
実施までの経過	7月・1月	社会福祉協議会打合せ 危機管理防災課打合せ 自治会連合会打合せ	PR方法	自治会連合会長へ周知			
			受付方法	自治会関係者より申込み			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
9月28日（土）	14:00～16:00	第1回 研修回 ～防災を通じた地域の関わり～ 石川県七尾市震災避難所状況について 避難所開設訓練	講義 実技	45	10	55	危機管理防災課職
3月23日（日）	10:00～11:30	第2回 研修会 ～4自治会合同研修会～ （八木崎自治会・中央二丁目町会・宮本町町会・浜川戸町内会） 講義「石川県七尾市 避難所業務を終えて」 避難所開設訓練	講義 実技	32	4	36	危機管理防災課職
2回	3時間30分			77	14	91	
企画運営 上の工夫	粕壁地区自治会連合会及び社会福祉協議会粕壁地区支部との連携を図り、実施内容を調整し、各自治会へ開催を周知し、参加者の選出を依頼した。地域の防災拠点のひとつである中央公民館にて、実際に地域住民が主体となって防災に関する理解を深める機会とした。						
成果者 参加者の声など	「災害はいつ起きるかわからない。危機管理意識を持つことが重要だと思った」「今後も市民センター、支部社協、自治会連合会共催で開催されたいのでは」といった感想があった。グループディスカッションも大切であるが、避難所設営訓練などの実践を多くしてほしいとの声もあった。また、能登半島地震の実際の避難所に派遣された危機管理防災課職員の講義を行ったところ、反響を得た。						
課題と展望	市役所危機管理防災課の協力を受け、地区内の自治会や社会福祉協議会と連携を密にして実施することができた。次年度以降も、定期的に開催し、地域における防災意識の啓発につとめたい。 自治会関係者（役員等）のみならず、各組・班など、より細部に防災への意識が浸透していくような取り組みをしていきたい。今後の地域を担っていく若い世帯からの参加もあるとなおよい。						

事業名 テーマ	令和6年度 粕壁地区防犯講習会		対象	粕壁地区自治 会連合会会員		定員	各回おお むね60名
ねらい	身近なところで発生または発生しうる犯罪について理解を深め、地域住民の防犯に対する意識を高める。						
協力機関 及び団体	主催 粕壁地区センター・粕壁地区自治会連合会		特色 位置づけ	防災・防犯の 拠点に関する 事業		SDGsの 目標No	4・11・13
会場	粕壁市民センター（中央公民館） 大会議室		教材 資料等	講義資料			
実施ま での経 過	1月 ぐらしの安全課打合せ 自治会連合会打合せ		PR方法	自治会連合会長へ周知			
			受付方法	自治会関係者より申込み			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
3月9日（日）	14:00～16:00	防犯講習 粕壁地区の犯罪状況に ついて 特殊詐欺について 住宅侵入強盗対策など について	講義	38	10	48	ぐらしの安全課職
1回	2時間			38	10	48	
企画運営 上の工夫	粕壁地区自治会連合会との連携を図ったうえで実施内容を調整し、各自治会へ開催を周知し、参加者の選出を依頼した。地域の防犯拠点のひとつである中央公民館にて、実際に地域住民が防犯への理解を深め、意識を高める機会とした。						
成 果 参 加 者 の 声 など	ぐらしの安全課職員を講師に招き、春日部市内、特に粕壁地区での犯罪状況や世間的にも話題となっており注意が必要な特殊詐欺などについて講義形式で開催した。特殊詐欺に関連して、住宅侵入対策などもタイムリーな内容であった。参加者からは、「地区内での犯罪状況や対策などを聞けたので、日頃から気をつけていきたい」との声があった。						
課題と展望	市役所ぐらしの安全課の協力を受け、地区内の自治会と連携を密にして実施することができた。安心安全に地域で生活できるよう、交通安全などのテーマも見据えながら、次年度以降もテーマを熟慮しつつ定期的に開催し、地域における防犯意識の啓発につとめたい。また、同内容であっても、継続的な開催を視野に入れ、自治会関係者（役員等）のみならず、各世帯に至るまで防犯意識が浸透していくような取り組みをしていきたい。						